

地球規模の課題「食」を通じた グローバルリーダーの育成

「食のサミット」の開催へ向けた取り組み

中村学園女子高等学校

1. 本校について

創立58年 福岡市城南区 私立女子校

生徒数約1,350名(高校35クラス1,250名、中学6クラス100名)

創立者:中村ハル 平成26年度よりSGH指定校

2. 研究開発の概要

テーマ:地球規模の課題「食」を通じたグローバルリーダーの育成

開発・実施項目:「食」を課題としたPBL／ルーブリック評価／

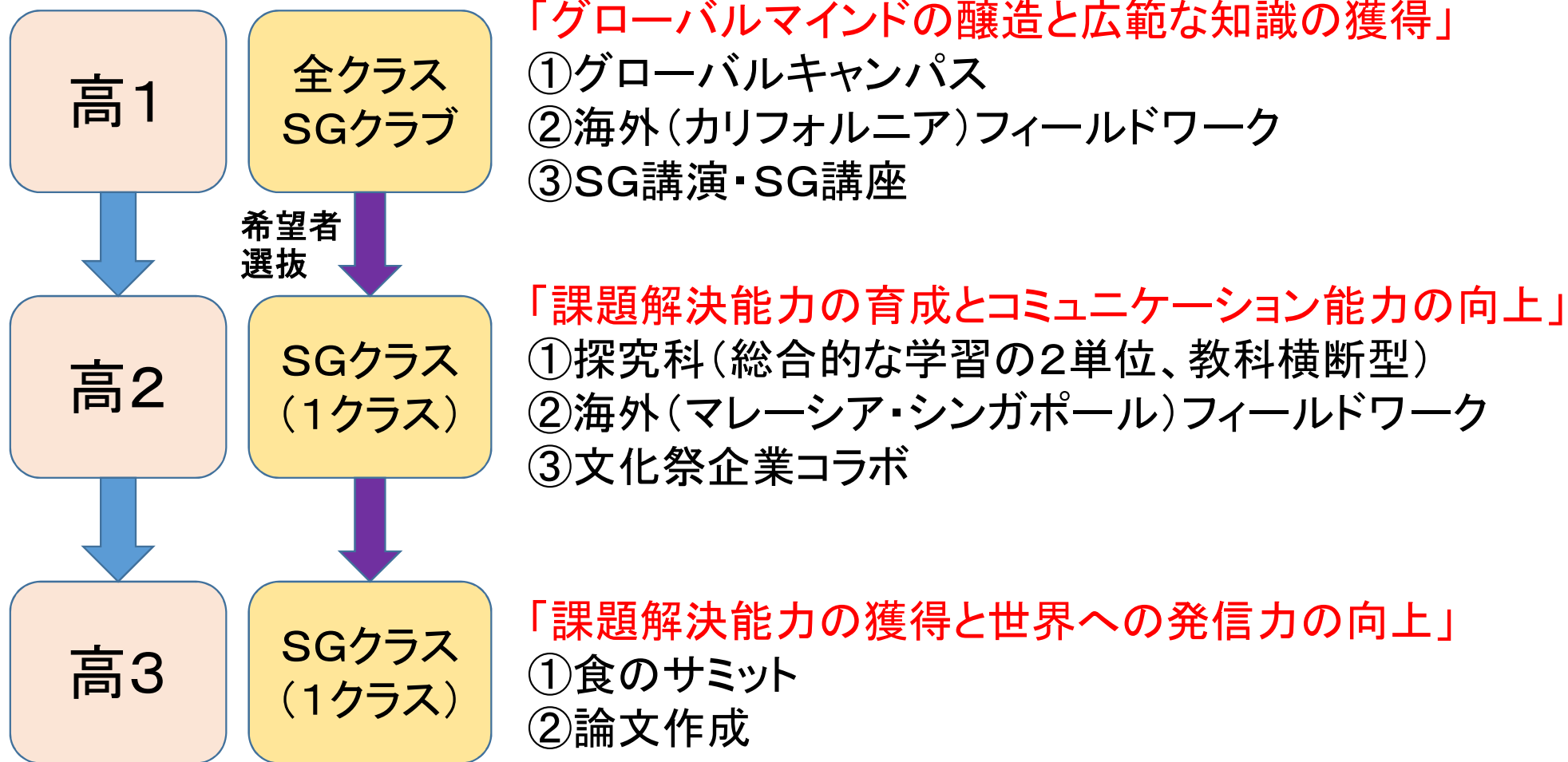
高大接続の拡充と新入試制度

3. グローバルリーダー像

地球規模の課題に対する幅広い関心・自主的な学習

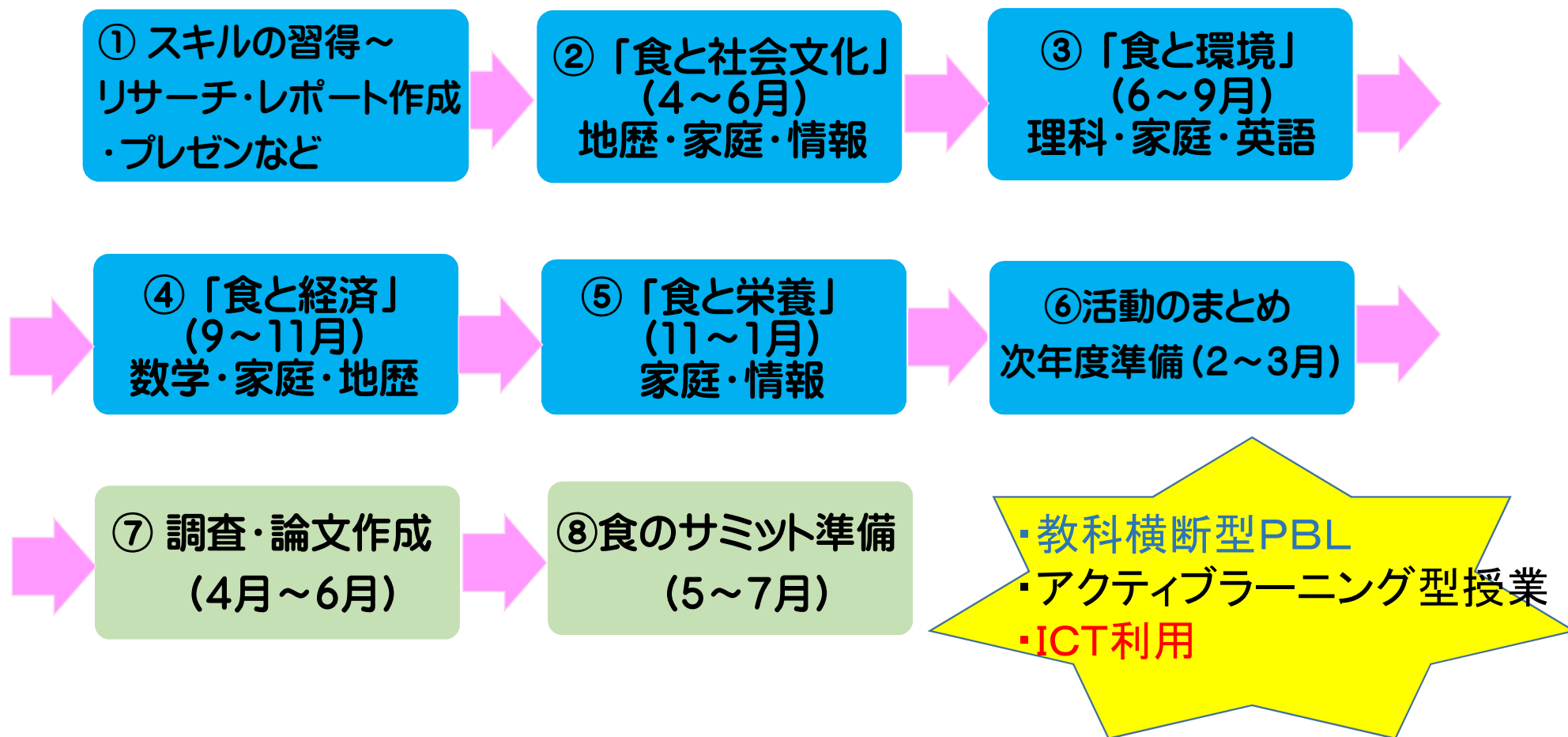
多様性受容・コミュニケーション力・他者との協働・問題解決力

4. 学年ごとの目標と主な取り組み



5. 探究科(2単位)

◎取り組みの内容(2年次4月～3年次7月)



◎「食と環境」(6～9月)の実践例 各回45分×2

回	日付	内容	教科
1	2018.6.13	学習目標、今後の予定、評価、課題発表について	理科・ 家庭・情報
	↓	食と環境のつながり	
2	2018.6.27	「Compost」について①	理科・ 家庭・英語
	↓	「Compost」について②	
3	2018.7	コンポストの作製	理科・家庭
	↓	堆肥化の進め方	
4	2018.9.5	食と環境・堆肥化に関するグループ発表	全教科
	↓	//	
5	2018.9.12	講演『地産地消のめぐみ』藤田 浩氏	外部講師
	↓	イタリア研修報告、食と環境のまとめ	理科・家庭

[特徴]・グループでの活動

- ・複数の指導者
- ・体験(実習)を伴う

・個人思考→グループ討議→発表

- ・ルーズリックによる評価(授業前に提示)
- ・外部講師による講話(実習)の機会

6. 食のサミット

◎位置づけと目的

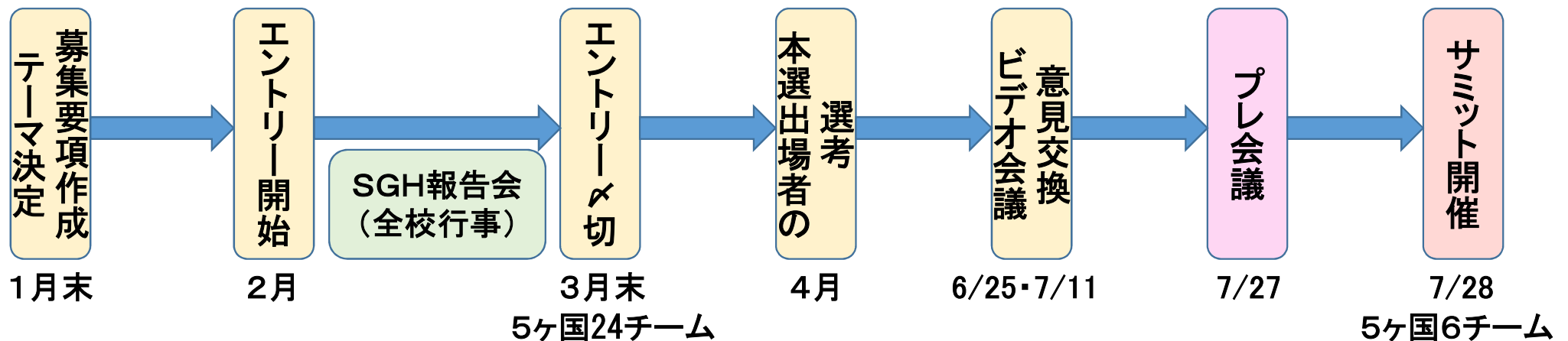
一連の探究活動の集大成の場

世界各国から選抜された中高生が集う

食に関わる問題点とその解決法を議論 → 共同提言書を作成

国連関係機関に提言 → 永続的で協働的なメッセージを発信

◎実施までの流れ(今年度)



◎サミット概要(今年度)

日時:2018年7月28日(土) 13:00~16:00

会場:中村学園女子高等学校 講堂

テーマ:水と「食」を取り巻く諸問題とその解決策

※昨年度は4領域からの選択

参加チーム:5ヶ国6チーム(米国、韓国、マレーシア、ウズベキスタン、日本)

エントリーに必要な要件:中高生、1チーム3~5名、提言書の提出、
主張ビデオの提出

予選選考基準:提言書と主張ビデオを実行委員がルーブリック評価

内容:本選出場チームによる主張プレゼン、共同宣言書の策定

本選の評価:参加者全員の投票と審査委員のルーブリック評価
最優秀チームを表彰

◎スケジュール(今年度)

7月
27日
(金)

時刻	内容
----	----

午前	各チーム福岡入り
----	----------

13:30	食のサミットプレ会議
-------	------------

17:30	終了
-------	----

7月
28日
(土)

時刻	内容
----	----

12:30	歓迎レセプション
-------	----------

13:00	食のサミット開会・開会行事
-------	---------------

13:10	第1部～コンテスト本選 ①主張プレゼン ②質疑応答 ③評価・投票
-------	----------------------------------

14:30	第2部～郷土料理ショー
-------	-------------

15:15	第3部～共同宣言策定 ①趣旨・経過説明 ②共同宣言案提示 ③討論 ④共同宣言
-------	--

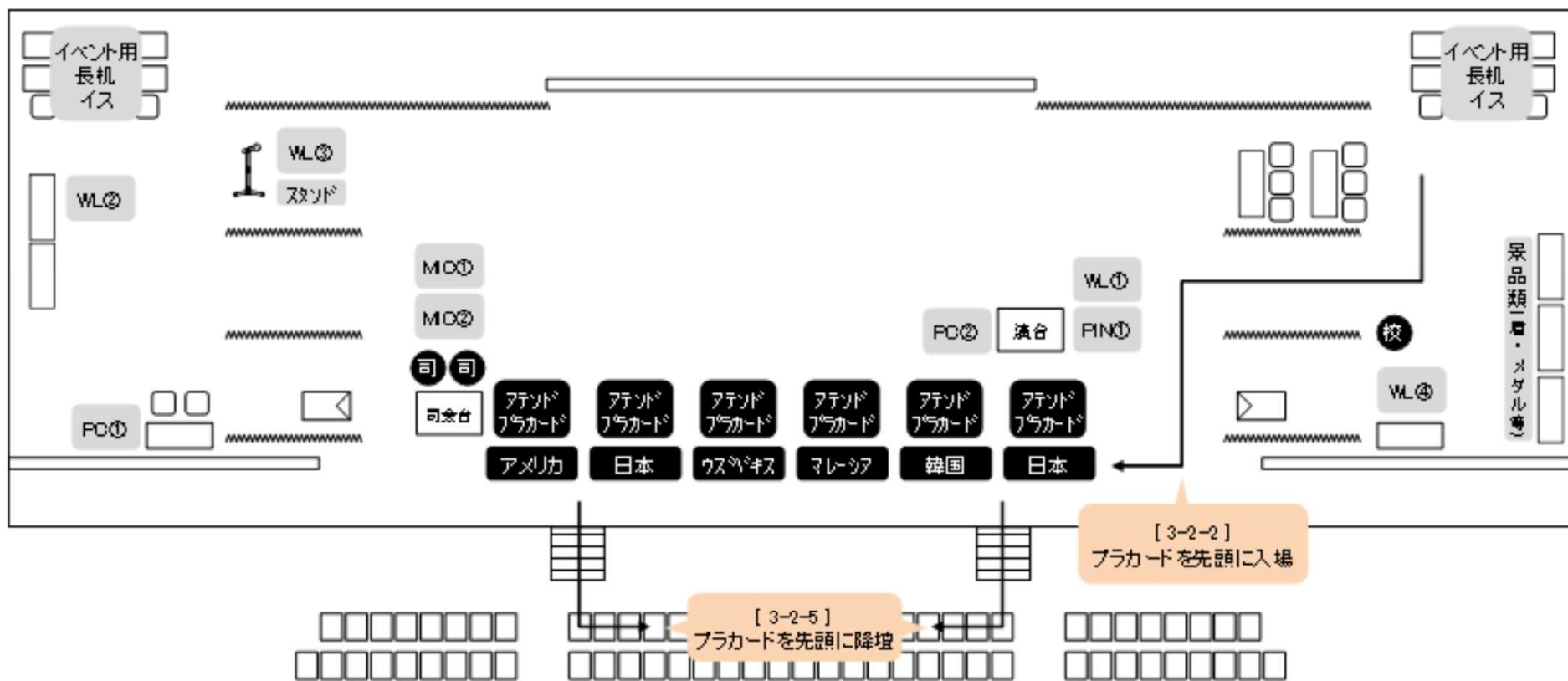
15:40	閉会行事
-------	------

16:00	閉会
-------	----

17:30	懇親会／フェアウェルパーティー
-------	-----------------

19:30	終了
-------	----

③-2 代表チーム入場 ~ 紹介



13:35	3-2-1	Now, we would like to introduce the representative of the teams. それではここで、各国代表チームの紹介をいたします。拍手をお願いいたします。	
	3-2-2	★ BGM 開始： CD②トラック 01【1回再生のみ】 ▼ スクリーン映像 @PC①：スライド「チーム紹介動画」(音声なし)	上手で動画に合わせて入場指示
	3-2-3	Team REACH from Corning Union HS, in California, USA. (拍手)	



プレ会議



歓迎レセプション



コンテスト本選



パネルディスカッション



共同宣言策定



共同宣言書提出

「食のサミット2017」 共同宣言 (冒頭部分)

Food Summit 2017 Joint Statement

September 1, 2017

I . Introduction

As the finalists of the Food Summit 2017 presented by Nakamura Gakuen Girls' High School, our six teams—representing the United States of America, Malaysia, Uzbekistan, Korea, and Japan—have discussed various global food-related issues and possible solutions. We especially focused our discussions on the reduction of food-waste, the eradication of poverty and hunger, and the conservation of traditional food.

As the culmination of two days of discussion and debate, we hereby announce our joint statement and action plans to solve the stated issues.

II . Summary of Issues

1. **Waste of food is an increasing issue of our world today.**
2. **Poverty is increasing at alarming rate.**
3. **Traditional food is being forgotten by today's youth.**
4. **People are unaware of how much food they need.**

III . Proposal of Solutions

1. **People can use food waste as compost for gardens. Composting projects can be community-led, or done by individual households.**
2. **Waste can be recycled or repurposed in various ways. The recycling/reuse can be community-led, or done by individual households.**

◎生徒の変容(昨年度)

サミット前後のアンケート結果(15項目)の比較より

- ・途上国に存在する課題や解決策に関する興味
- ・途上国に存在する課題の解決と日本とのつながりの認識
- ・日本の社会に存在する課題の解決への意思
- ・「食」に関する課題解決への興味
- ・「食」に関する興味／関心 → 特に伸びが著しい 23ポイントの伸び
- ・外国人の価値観に触れることへの興味／関心
- ・海外渡航への意欲

全ての項目で事後における肯定的回答が増加

→サミット実施による期待した効果が得られた

◎課題と改善点

- ・参加生徒の英語運用能力向上
→英語プレゼンやディベートの機会を増やす
- ・実行委員の組織化を進める
→できるだけ多くの教員が関わる組織づくり
- ・エントリーを増やす →ホームページやロコミによる広報活動の強化
- ・共同宣言の内容をより深める →ビデオ会議など事前の意見交換

◎サミット継続へ向けて

特に予算規模縮小に伴う対策として...

- ・海外チームの費用負担を増やす
- ・ライブ配信によるサミットにする →時差の問題あり
- ・参加対象を姉妹校・提携校、市内／県内／九州内などに限定する